

安全に（惨死無しに）
生き残る方法を

確信集（独言一部）！

DangerNews & JYAN研

命の保証は無理ですが
保険より確実な方法は
自分で、自分を守る！

そんな、最高の方法が
あります。DangerNews

命に危険があるのは？

- 交通事故 危険な交通手段を使わなければ命は助かる。
 - 地震 突発で防ぐことができない。
 - 噴火 突発で防ぐことができない。
 - 事故 突発で防ぐことができない。
 - 病気 病院で治療するしか無い。
 - 危険なのは地震・噴火・事故だけである。
- ◎地震と噴火を防げば、ほぼ確実に生きられる。

地震と噴火はどうすれば良い？

- 当JYAN研の観測装置でしっかり観測し、危険な時は逃げる。
- 当DangerNewsの危険情報で確実に避難する。
- 自家用の観測装置とDNの情報で、確実に避難すれば良い。
- JYAN研以外の地震観測は遅れており、予知には役立たない。
- 国等の情報に頼っていると、大事な時に抜ける事が多い。
- 自分で観測するのが最も確実である。ただし、JYAN研に技術支援を求めれば高信頼になる。
- JYAN観測網に参加を希望する方は どうぞ

次に〈家族を守る〉

禁複製

• JYAN研 & DangerNews

地震から、自分や家族を守る方法を考えました！

地震専門の大学や地震学会等も判らなかつた地震予知ですが、私は、電磁(波)気観測から全容を解明できました。

結局

市民科学者が、電磁(波)気観測のデータを解析し、誰も判らなかつた地震予知理論とメカニズムを解明しました。

研究費は、総て私財投入し25年間研究を続けました。

「皆さんが悲惨な目に合うのを止め！安全に、避難して貰う為です。」これで、皆、頑張った甲斐があります。

現状は<地震学界は、高感度地震計とGPS観測等に投資したがほぼ失敗>

- なぜ？できないのか。地震の理論やメカニズム迄判らなかった。
- 地震計観測は地震が起きてからの観測であり、予知は無理！
- GPS観測は、地表面の変動観測であり、深層の地殻変動は判らず、地震予知情報としては役立たなかった。
- 海洋観測網も、高感度地震計を使っているが、成果は出ていない。
- 私に言わせれば、10年前から学会等で電磁観測を奨めていた。

ところが

- 電磁観測で大きな成果を報告をしても、市民科学者団体である当研究には、国の研究予算等は全く付かず、学会から話さえ無かった。
- 私費を投じる真剣な市民科学者団を、無視する学会は潰れていく。

役に立たない気象情報に腹が立ち 予知できない日本地震学会もダメ

気象庁が発表している地震の震源等は殆ど推定で、震源の深さも、計算上の推定だが、震源深さの計算基礎は間違っていないか？

気象庁の地震警報は直下型の場合、間に合わず役に立たない。

GPS観測網の地殻変動も、地震予知には殆ど役に立たない。

海洋観測網もトラフ地震等殆ど判らず役に立たなかった。

地震学会、気象庁、地震～機構は、役立たずで税金の無駄？

例 東日本大震災では津波高さが予報間違いで、約2万人が死亡
熊本地震では、最初の地震後に「余震に注意」とテレビで言った為、安心して自宅に帰った方が200人程本震で死んだ！
でも、誰も責任を取っていない。必罰の体制は無くてもいいの？

では、どうすればいい？

- 簡単なんです。が、今は、自助努力だけなんです。
- 電磁気の観測網を全国に作れば地震予知はできます。
- 恐らく、90%以上の正解率になります。
- 自然が相手なので100%は無理ですが、週間天気予報の確率35～50%に比較すれば段違いなのです。
- 今の地震計や気象観測装置があるところに電磁気の観測装置を加えれば簡単です。
- データ解析センターと、配信センターが必要です。

市民科学者が、地震の理論とメカニズムを解明した。

地震関係の大学や研究所や機構等は、20年以上国から100億円も研究費を戴きながら、地震予知はできないと嘯く。**これって、情け無くないですか？ 大学の先生？って何？**

ところが、私は、市民科学者として電磁気アプローチし、誰も判らなかつた地震の理論とメカニズムを解明し発表しかも、全私財投入で・・・これで、無視されていい？

地震予知アマチュアネット、JYAN研、Danger News 主宰(JH6ARA) 國廣秀光

○筆者(市民学者)が、電磁気観測を元に地震の理論とメカニズムを発表しました。

- 市民科学者と言っても、実はプロの地震学者とは段違いです！
- 日本地震学会で10年在籍、学会の発表も10回を超え、日本地球惑星科学連合の地震部門で4回発表し、日本地震予知学会では4回も発表し好評を博しています。
- そんな中、なぜ？地震学のプロにできない解明ができたか？
- **実は地震学者には難解だった電磁気の観測に取り組み、全国に観測網を作ってデータを集め、10年以上も研究を続けた。**
- **電磁(波)気は、私や仲間にとって最も得意とする分野だった。**
- **PCやソフト開発に積極的に取り組み、広範な知識があった。**

プロの皆さん！地震大国の日本で、予知が出来なくて良いですか？

- 世界の人々は、日本が何とかしてくれるだろうと期待しています。
- 私が提案した理論やメカニズムは完璧ではないが、基本的には正しいです。教授連には真剣、電磁気の勉強をして欲しい。
- 電磁気観測をすれば、数日から1週間前に予知できるし、観測情報を利用して貰えば、命の安全に絶大な社会貢献ができる。
- 私達も、予知の精度を上げて、予見へと進めます。
- 月日、時間、大きさ、場所（市町村）回数、余震等正しく予報できるよう努めます。現在最も優れた観測方法ですから・・・。

本来の学界を取り戻せ

- 民主主義は1人1票の同列で、社会貢献度を勘案しないため、重要な研究リーダー達が、海外の誘いに乗って出奔している。
- 学論界も、目覚ましい研究や発見者が海外に移転している。
- メディアやスポンサーも海外からの利益誘導に負けている。
- 気骨のある日本人が居なければ、日本民族は生き残れない。
- 弱肉強食な世の中であるが、学論でリードし、無益な戦争をしない事である。その為には、防備と応酬の準備が必要である。
- バカな政治をする国は、いずれ潰れる。世界を仲良くし人類の発展を目指すには、お互いに協力する国を育てよう。
- 特に問題と思うのは、予知できない学会風が罷り通っている事。

日本人は、昔から慎ましく そして、勤勉であった。(私信)

- 嘘を付き、洞を吹き、騙す民族に、繁栄は無い。
- グローバル化と国民性は、全く違う考えが良い。
- 悪国は、優秀な隣人を殺し、憂いを無くす為一族一統迄皆殺しにするが、善国は、先人の知恵を尊び、隣人を生かして協力し合う考えの国である。
- 殺生を嫌い、知恵や技術で社会貢献を目指せば、互いに発展し、生き残る事ができるであろう。

最も安全な方法は

禁複製

地震予見

電磁波観測網の電磁データ解析から、判ります。
約1週後に起きる地震模様を、正確に予見でき、
安全避難が可能な地象観測技術が完成間近です。

地震予知の基礎となる「予知理論とそのメカニズム」は、昨年日本地震学会や日本地震予知学会等で発表済みです。(世界初での発表となりました。)

地球観測連合 (JYAN研VolunteerGroup) 國廣秀光

現在の地象観測と予見技術

- 地震と地象と電磁波異常のデータ解析が一致
地震前の電磁波や潮汐・気象等異常変動等の解析結果が一致している
- 地殻変動には太陽・月等惑星重力も影響する
月40cm、太陽17cm、惑星集数cm等地球が毎日撓み、地殻変動の一因だ
- 電磁波観測とデータ解析技術が充実して来ると
10kmメッシュ等の観測網から、データ解析をすると殆どの地震の3原則(いつ、どこ、大きさ)等と、地震の回数や余震などまで発表できる。
- 異常変化の自動解析から自動的警報配信が可能
異常パターンや経験則から自動的に地震の3原則を計算する事が可能で、観測経験が長期間になれば配信情報が正確になります。

地象観測と正しい危険予報

- 地震や噴火等の危険情報は3段階で発表可能
1月前(概要)、1週間前(予報)、数日前(詳報)となり、直近での特別報は、震度と規模や範囲に、地震発生の時間帯迄発表できる。
- 地震の予見情報と電磁波観測技術が向上
観測網に依存するが、ほぼ正確な予見情報が発表できる。しかし、これには電磁波解析技術の向上が必要で、経験則との照合を要す。
- 地象と天文現象等に総合的な観測技術を投入
月と太陽等、地殻変動の原因追及が必要であり、電磁波等の観測と解析技術の向上によって、先見できる情報が正しい内容に変わる。

未来の地象観測とは

- **電磁的地象観測による危険回避情報は正確である。**
- **地震予見情報の内容と確率は(85%)以上の信頼性有**
危険回避と予見情報は、観測網と解析技術に依存しますが、
観測事例を積み増すほど、より正しい予見情報に向上します。
- **地象危険予報は、正確で無いと、極めて困るのです。**
地象観測情報は、命の危険度が高く必須の情報ですから

25年の研究実績から生まれた 地球観測連合 (JYAN研)

取り敢えず、当研究メンバーにどうぞ

- まだ、予見システムが完成する迄は役に立ちません。
- 現在の実験的観測網(50局)では、予知予見は無理です。
- これから、システムの準備に入りますので、お手伝い戴ける方は、メールアドレスの登録をお願いします。
- メールは① jyanken@oct-net.ne.jp jh6ara@orange.ocn.ne.jp
- ホームページは <http://ara.jyan.biz/> 他いろいろ
- 諸々資料等のHP等は JYAN研 國廣秀光 で検索願います！
- 使う予定の無いお金のある方は、ご寄付を戴ければ皆助かります。